



4月21日～5月14日までクール ストラティン青山店にて「DZINEフェア」を開催。写真はサンプル。実際の商品では、裏地は全面に張られる。¥149,100

DZINE VS COOL STRUTTIN'

ディーザイン VS クール ストラティン / スーツ

裏地のお洒落が小粋な、大人のスーツ

「COOL STRUTTIN'」といえば、ジャズファンなら、ソニー・クラークの名盤を即座にイメージするに違いない。タイトスカートにピンヒールという女性の脚が飾ったジャケットは、いまでも語り種となっている。

クール ストラティンは、文字通りそんなジャズ・エイジのスタイルをテーマにしたスーツブランドだ。1950年代から70年代初頭のニューヨークのジャズミュージシャンをイメージソースに、ビジネスアイテムとしてだけでなく、お洒落を楽しめるアイテムとしての遊び心溢れるスーツスタイルを提案している。

そのクール ストラティンとアメリカのカラーペインティング・アーティスト、ディーザインとのコラボレーションによる、ディーザイン VS クール ストラティンが

誕生した。クール ストラティンの基本的なスーツスタイルは変わらないが、ディテールへのこだわりは並大抵ではない。

たとえば、裏地に注目。スーツの裏地といえば、これまではせいぜい主張してもワインレッドあたりまで。ところが、上の写真をご覧ください。ここまでカラフルなプリントが施された裏地は、なかなか挑戦的だ。それは、「スーツで遊べる大人」というコンセプトに、なみなみならぬ自信があることの証でもある。

江戸の粋人もそうであったように、裏地のお洒落とは伊達男の究極のこだわり。ここまで主義・主張のあるスーツを着こなすには、大人のウィットのかなんたるかを熟知することが、まずは肝要なのではないだろうか。



胸ポケットの裏地がポケットチーフになるとは……こんなアイデアも、遊び心溢れるクール ストラティンならではの味わいだ。



闊達な色彩世界の広がる裏地は、音楽的なメディテーションからインスパイアされたイメージの結果なのかもしれない。